

授業科目 地域アセスメント演習

【担当教員名】 清水由美子 西脇友子 石原美由紀 丸山敬子 杉本洋 北村香織	対象学年	2	対象学科	看護
	開講時期	前期	必修・選択	必修
	単位数	1	時間数	30

【<概要>又は<一般目標：GIO>】

地域看護活動の固有の技法である地域アセスメントの理念と目的を理解し、顕在的及び潜在的な健康ニーズを明らかにするための技法として、情報収集、アセスメント、健康ニーズの抽出、計画立案、実施・評価までの一連の過程を学習する。具体的には、設定した対象地域について既存の資料の分析と地域を実際に歩くことで得られる情報の活用により総合的なアセスメント（演習1）を行った後、対象やテーマを絞り、健康ニーズに合わせた地域保健活動の計画立案を行う（演習2）。

1. 地域特性を把握し、健康ニーズを分析することの意義を説明できる。
2. 地域特性や健康ニーズを把握するための指標を具体的に述べることができる。
3. 地域の健康ニーズを把握するための方法や活用可能な理論モデルを説明できる。
4. 既存資料および地区踏査から得られた情報の分析結果を示すことができる。
5. 分析結果を計画立案、実施につなげる視点について説明できる。
6. 活動を評価する際の視点および評価方法を説明できる。

回数	授業計画又は学習の主題	SBO	
		番号	学習方法・学習課題又は備考・担当教員
1	地域看護活動における地域アセスメントの意義	1, 2	講義
2	地域の健康ニーズを把握するための指標	2, 3	講義
3	地域アセスメントの展開方法	3~6	講義
4	演習オリエンテーション、演習1：地域アセスメントの実践①	2~6	演習
5	演習1：地域アセスメントの実践②	〃	演習
6	演習1：地域アセスメントの実践③	〃	演習
7	報告会 1	〃	演習
8	演習2：テーマに沿った地域アセスメント①	〃	演習
9	演習2：テーマに沿った地域アセスメント②	〃	演習
10	演習2：テーマに沿った地域アセスメント③	〃	演習
11	演習2：テーマに沿った地域アセスメント④	〃	演習
12	報告会 2 a	〃	演習
13	報告会 2 b	〃	演習
14	まとめ	1~6	講義
		地域看護領域全教員で担当する 演習にはPBLを取り入れる	

【使用図書】	<書名>	<著者名>	<発行所>	<発行年・価格・その他>
教科書 (必ず購入する書籍)	地域看護学	荒賀直子・後閑容子	インターメディカル	3,390円
	国民衛生の動向	厚生統計協会	2007年	2,400円
参考書				
その他の資料				

【評価方法】 出席状況や演習への取り組み（40%） 筆記試験、レポート（60%）	【履修上の留意点】
--	-----------